



24 題目石・地神・水神(大橋)

大橋妙見宮・地蔵堂 (撫川28-14・28-15)

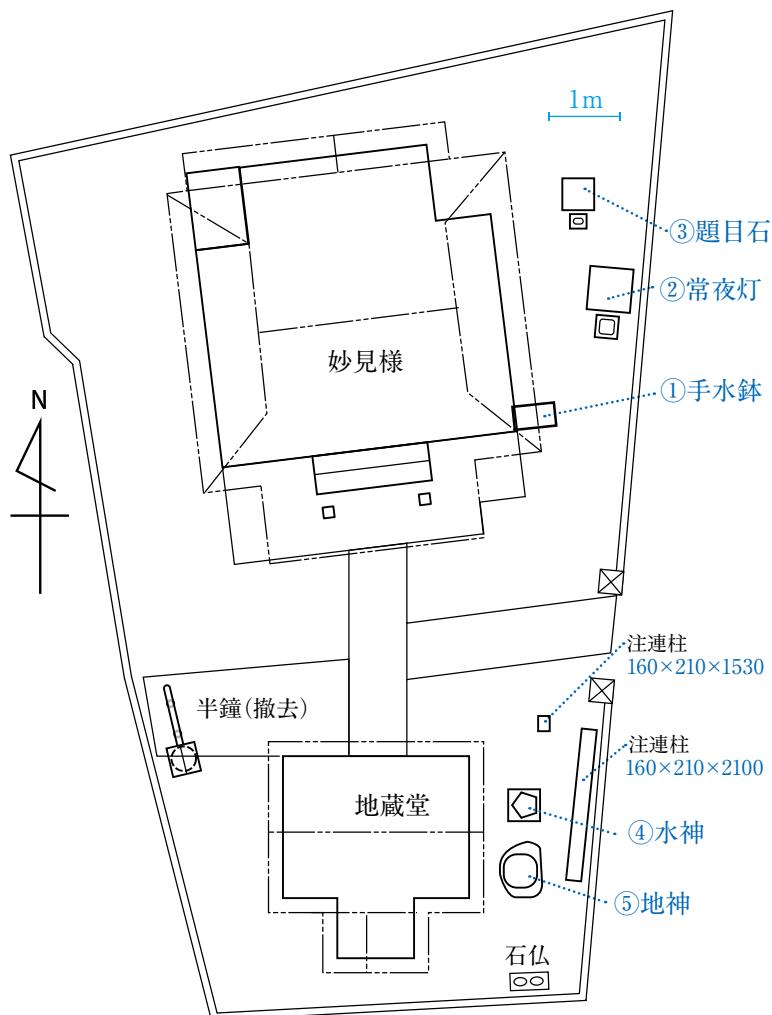


かつて足守川東詰堤上に地蔵堂(南側)と妙見宮(北側)が相対して在ったが、昭和43年に河川改修で現在地に遷座された。その後妙見宮は平成18年に改修工事をした。

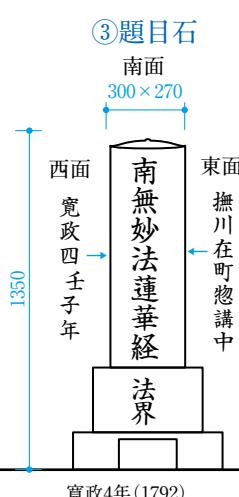
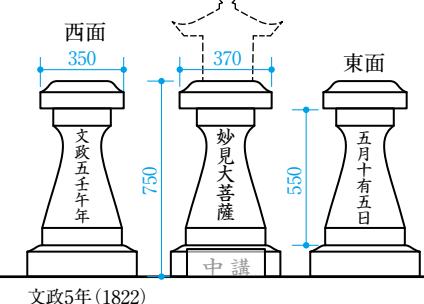
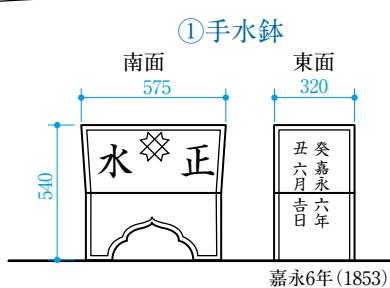
昭和41年の足守川周辺見取図(きびのさと No.96より)

撫川大橋附近

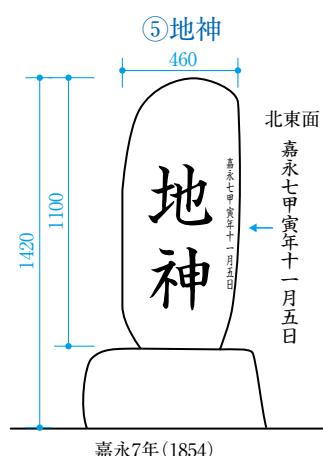




石仏

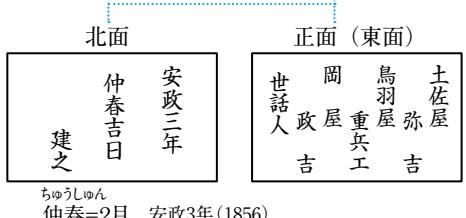


寄進者は蘆草で財をなした人々である。
土佐屋=ござの商人（「土佐屋弥吉」は撫川八幡神社、須佐之男神社の玉垣にもある）
鳥羽屋 狹川の人（ござの商家）
岡屋 東町の人（業種は不明）



41 日車大明神と36 平野の地神にある

41 日車大明神と36 平野の地神にある



大橋妙見宮



御本尊の北辰妙見大菩薩を安置し、右に最上稻荷大明神、日蓮大菩薩。左に清正公大明神、鬼子母尊天の尊像を厨子に崇め奉っている。

この御堂は昔から部落の日蓮宗信徒十二家が揃って祭祀し、毎月十二日に御講の行事をしている。(きびのさとNo.96より)



扁額



祥雲算斧遜齋

欅板・横三尺一寸、豎一尺三寸
しょううんあん 祥雲簾(簾=庵) そんさい 邇齋

名延□字世寶
號遜齋

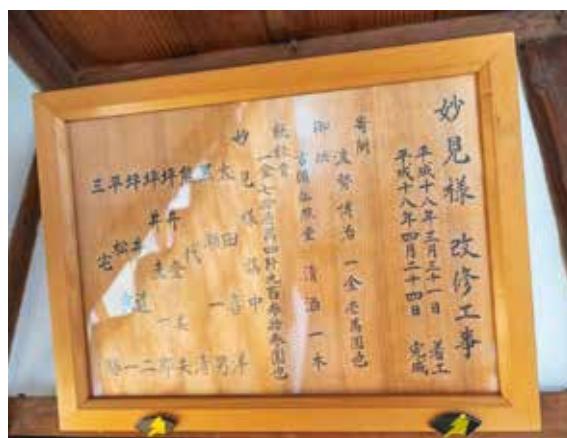
拙不解者以還々

今茲元治紀元甲子春土木相叔
祠門先造且結筭縣扁號祥雲筭
上人請余揮毫

當州撫川初日方上人也產土

裏面に墨書き(きびの書きNo.96より)

改修工事の記録



妙見様 改修工事
平成十八年三月三十一日 着工
寄附 平成十八年四月二十四日 完成
御供 波勢博治 一金壺萬圓也
吉備仏照堂 清酒一本
総絵費
妙見様講中
太田喜洋
黒瀬男
熊代清
坪井登美夫
坪井達一郎
坪井圭一
平松良一
三宅勝

大橋地蔵堂



北向きの堂の中に石造座像の地蔵尊を台石の上に安置している。
創建は寛永年間と思われるが、堂の棟札(現存未確認)に「天井営繕 大正十年旧三月東 大橋町 女講中」とある。(きびのさとNo.96より)

地蔵尊

